

# おきなわ市日誌

## 令和2年 叙勲等受章者

(敬称略)

### 【春の叙勲受章者】

旭日双光章 普久原 朝健(地方自治功労)  
瑞宝双光章 眞榮城 玄昌(教育功労)

### 【春の褒章受章者】

黄綬褒章 知念 聡(業務精励 宅地建物取引業)

### 【第34回危険業務従事者叙勲受章者】

瑞宝双光章 宮里 政榮(海上保安功労)  
瑞宝単光章 神谷 嘉弘(防衛功労)  
瑞宝単光章 眞鶴 正則(警察功労)

### 【秋の叙勲受章者】

瑞宝単光章 大田 守和(矯正業務功労)  
旭日単光章 平良 光營(地方自治功労)  
旭日双光章 米村 一成(薬事功労)  
旭日双光章 上間 義正(金融業功労)  
瑞宝小綬章 稲嶺 勇(警察功労)  
旭日小綬章 宜名眞 正勝(納税功労)

各分野における多大な貢献や功績が認められ、令和2年に叙勲・褒章等を受章された皆さまをご紹介します。



### 【秋の褒章受章者】

藍綬褒章 積 静江(更生保護功労)

### 【第35回危険業務従事者叙勲受章者】

瑞宝双光章 吉田 正義(海上保安功労)

### 【高齢者叙勲受章者】

瑞宝双光章 仲宗根 實(郵政事業功労)  
瑞宝小綬章 山城 正喜(教育功労)

## 12/24 コロナ禍の人びとへエールの光

有限会社幸地建設の社屋や敷地で、昨年12月24日から今年1月末まで、新型コロナウイルス感染症と戦うすべての人への感謝と応援の気持ちを込めたイルミネーションが装飾されました。

「コロナ禍の世の中を少しでも明るくし元気づきたい」と、社員と共に取り組んだ幸地俊郎社長のもとには、地域住民から感謝の手紙も届きました。



## 1/4 門松と坪庭で新春を祝う

沖縄市緑花会(玉那覇和男会長)が、1月4日から10日まで、市役所正面玄関前に正月の門松と坪庭を設置しました。

市内の美化活動による地域貢献の一環として平成29年から始め、今年で5回目となります。

### ■沖縄市緑花会

- 有限会社 緑新開発
- 有限会社 ターフメンテナンス・ヒガ
- 株式会社 沖縄ガーデン
- 有限会社 グリーンスタッフ
- 有限会社 緑建
- 有限会社 内盛産業
- 有限会社 明城建設
- 有限会社 三基土木
- 株式会社 松幸





## 12/15 作文で税への理解を深める

令和2年度中学生の「税についての作文」で、沖縄県納税貯蓄組合連合会優秀賞を安慶田中学校3年生の當山美麗さんが、沖縄市長賞を3年生の池宮花一慈さんが受賞し、同校で表彰式が行われました。

また、毎年「税についての作文」に応募している安慶田中学校の取組に対して感謝状が贈られ、生徒会長の渡慶次一空さんが代表で受け取りました。



## 12/20 皆でつくろう沖縄市の明るい未来

学生たちが主体となって取り組む未来志向型プロジェクト「第7回沖縄市こども議会(マイプロジェクト 沖縄市)」に参加した市内の中学生と県内の高校生25人による最終発表会が、Startup Lab Lagoonで行われ、その模様をZoomで公開しました。

7回目となった今回のこども議会では、「提案内容を実践する」ところまで活動内容を広げました。

桑江市長等が見守る中、一人暮らしの高齢者に寄り添うため活動したチーム、コロナ禍で生活リズムを乱したこどもたちの支援を行うため活動したチーム、子育てをする親への支援を行うため活動したチーム、ゴミを拾い海岸をきれいにするため活動したチームの4チームが、パワーポイント等を使い発表を行いました。

発表後、桑江市長から各チームの代表者に修了証が手渡されました。



## 12/24 人の心に寄り添い続けて20年

平成12年から20年にわたる保護司活動の功績に対し、令和2年秋の叙勲・褒章において藍綬褒章が贈られた保護司の積静江氏等が市役所を訪れ、桑江市長に受章の報告を行いました。

積氏は「支援をしてくれる方や更生した方のおかげでいただけた褒章。とても嬉しいです」と、受章の喜びと周りへの感謝を話しました。

## 12/18 力強い絵画でエイサーを発信

エイサーへの関心を高め、次世代育成へとつなげる「第2回 エイサー絵画・ポスターコンクール」の表彰式をエイサー会館で行いました。

市内の全小学校3年生と特別支援学校小学部を対象に募集したところ、6校から、昨年を上回る268点が集まりました。

最優秀賞のエイサー会館館長賞に選ばれた中の町小学校3年生のバタイ ゾーイ 陽和さんに、金城良昭館長から賞状と記念品が贈られました。

ほかにも、優秀賞10名、優良賞20名、入選70名が選ばれ、入賞作品101点は、1月12日から31日まで、エイサー会館で開催の「エイサー絵画・ポスターコンクール入賞作品展示会」においてお披露目されました。



# おきなわ市日誌



## 12/25 18年ぶりの春高バレー出場

第73回全日本バレーボール高等学校選手権大会(春の高校バレー)に出場する美里工業高等学校男子バレーボール部の選手等が、市役所を訪れました。

本市出身の高元盛頼主将、饒平名丈衣選手、伊波士温アンソニー選手、親川悠斗選手が勝利への決意を語り、桑江市長や本市をサブホームタウンとするパナソニックパンスーズの選手から激励の言葉が贈られました。



## 1/7 10連勝でF4年間王者に

自動車4輪レースのFIA-F4(フォーミュラ4)で、昨季12戦で10連勝し年間シリーズチャンピオンに輝いた、本市出身の平良響選手等が市役所を訪れ、桑江市長へ優勝報告を行いました。

平良選手は「歴代の最高記録8連勝を塗り替え10連勝し、優勝できたことで自信がついた」と勝利の喜びを語りました。



## 12/25 日本パラ陸上強化合宿

東京パラリンピック日本代表に内定している車いす部門ナショナルチームの強化合宿が、12月24日から27日まで、コザ運動公園陸上競技場で行われました。

一般社団法人日本パラ陸上競技連盟の増田明美会長が、桑江市長のもとへあいさつに訪れ、練習環境や宿泊施設のおもてなしなど、沖縄市は合宿地として良い環境である等と話しました。



## 12/20 運動・スポーツの習慣化に向けて

運動・スポーツに興味・関心を持ってもらい習慣化を図ることを目的とした、女性対象の全6回講座、運動・スポーツ習慣化促進事業を実施し、12月20日には、沖縄県総合運動公園で、運動講座とサッカーF C琉球の試合観戦を行いました。

26人が参加し、自転車、ウォーキング、レクリエーションの各コースに分かれて活動しました。

## 12/13・20 10周年記念に冠イベント

沖縄市がF C琉球のホームタウンとなって10周年を記念し、12月13日のF C琉球対愛媛F Cの試合が「沖縄市GOスペシャルマッチ」として行われ、試合前には、園田青年会のエイサーやD-51のライブなどで会場を盛り上げました。試合は、F C琉球が6対0で勝利し、約3,200人の大歓声に包まれました。

また、12月20日には交流会を開催し、選手によるパフォーマンス対決や沖縄市に関する〇×クイズ、選手の私物が当たるお楽しみ大抽選会が行われました。

最後には、積田景介選手から「来シーズンも、ここにいる皆さんと一緒に戦いたい」という力強い言葉と、ファンへの感謝が伝えられました。

**祝 沖縄市 FC琉球ホームタウン10周年!!**





**12/23 ITの利活用でスマートなまちづくり**

「沖縄市と一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センターとの包括連携・協力に関する協定」の締結式を市役所で行いました。

産業支援機関である同センターとの連携・協力により、市内施設等におけるIT(情報通信)の利活用を促進し、市民の利便性や生活環境をより良くした住みやすいスマートなまちづくりを進めていきます。



**12/14 コロナに負けるな! 市産品PR展**

新型コロナウイルスの影響を受け、販売機会の減少を受ける市産品事業者を応援し、経済回復等へつなげようと、12月14日から18日まで、市役所で食品限定の市産品PR展を開催しました。

コーヒーや黒糖、菓子、ハチミツやチキンなど、市内11事業者が参加し、沖縄市自慢の「食」が展示即売されました。



**1/5 教育の課題やあるべき姿を共有**

令和3年度から始まる「第2期沖縄市教育大綱」の策定に向け、桑江市長、比嘉教育長、教育委員会委員等による令和2年度第1回沖縄市総合教育会議が開催されました。

沖縄市教育大綱は、民意を反映した教育行政の推進を図るため、本市の教育及び文化の振興に関する総合的な施策の根本となる方針です。



**1/12 平和を考え伝えていく**

令和2年度沖縄市平和大使に任命された、市内中学生17人が作成した壁新聞を展示した報告展を、1月12日から15日まで市役所で開催しました。

市の歴史や文化に関する座学や南部戦跡などでのフィールドワークを行い、戦争の悲惨さや平和について学び考えたことを、写真やイラストを交えて記事にし、平和新聞として発信しました。



越来グスクから見つかった  
カットマークのある牛骨

まだまだ寒い日が続いています。たまには牛肉のお鍋やシチューなどを食べて栄養をつけるのはいかがでしょうか? 想像するだけでモーターまわりません!  
食事をする際は、ギユウギユウの三密にならないようお気をつけください。  
(学芸員 横手)

**こちら 沖縄市立郷土博物館**

牛はもともと沖縄には生息しておらず、約800年前のグスク時代に、よその地域から農業用や食用として連れてこられたと考えられています。  
沖縄市では、越来グスクや仲宗根遺跡から、牛の骨が見つかっています。骨の中には刃物で解体する時についた傷(カットマーク)がありました。この傷は食べるためについたのでしょうか? それともまた別の目的があったのでしょうか? 皆さんはどう思われますか?  
今年が明けて、今月は旧暦でも正月を迎えます。今年の干支は牛です。皆さんは牛と聞いてどういうイメージがありますか? ステーキ、闘牛などでしょうか?  
沖縄では身近な存在である牛ですが、牛と沖縄の人々の歴史はどれくらい古いのでしょうか?



# おきなわ市日誌



## 1/13 交通安全と無事故を祈願

沖縄地区交通安全協会による「令和3年交通安全祈願祭」が、北谷町の交通安全の塔で開催されました。

同協会の宮城好博会長、幸喜一史沖縄警察署長、桑江市長、野国昌春北谷町長、比嘉孝則北中城村長、交通安全協会等の関係者が出席し、交通事故犠牲者への黙とうをささげ、出席者全員で交通安全を祈願しました。



## 1/10 合言葉は「地域はみんなで綺麗に」

更に住みよい地域にするため、毎月第2日曜日の朝9時から、市道古謝公民館線の歩道の草刈りやゴミ拾い等の環境整備を行う道路ボランティア団体「古謝道路愛護会」の開始式が、古謝公民館で行われました。

開始式後は、ナタや草刈り機を使い、ミー橋小前から、約200mの歩道の草刈りを行いました。

## 12/21 おばあサンタがやってきた!

こどもたちにプレゼントを贈りたいと、特別養護老人ホーム森城の入所者が、カラフルな椅子や積み木を作成し、山里リブラ保育園・パーチェ山里保育園で、同園に通う園児に手渡しました。

サンタクロースの帽子をかぶった入所者からプレゼントを受け取った園児は、お礼に「サンサンたいそう」等の歌と体操を披露しました。



## 12/10・22 健やかな成長を願う贈り物

沖縄県労働金庫コザ支店の加入会員団体等で構成するろうきんコザ地区推進委員会の比嘉弘子委員長と沖縄県労働金庫コザ支店の山城興一支部長が、子ども達の健やかな成長に寄与することを目的に、「ろうきん文庫」として、12月10日に美原小学校へ18冊の図書を、12月22日に越来保育所へ23冊の絵本を寄贈しました。

ろうきんコザ地区推進委員会において、今年度から始められた「ろうきん文庫」は、人材育成及び地域貢献活動の一環として、地域内(沖縄市・北谷町・嘉手納町・読谷村)の小学校、幼稚園、保育園に対し、希望する図書を寄贈する活動です。

比嘉委員長は「心豊かな楽しい学校生活を送れるよう図書を活用してほしい」と話しました。

美原小学校



越来保育所

